

たぶんかきょうせい
多文化共生を

かんが
考える

たぶんかさーびす
多文化サービス

ぶっくりすと
ブックリスト No.2

ひがしくるめしりつちゅうおうとしょかん
東久留米市立中央図書館

2016.7

たぶんかしゃかい し かんが やく た ほん しょうかい
多文化社会を知る・考えるために役に立つ本をご紹介します。

No.2 のテーマは「たぶんかきょうせい かんが
多文化共生を考える」です。

田中宏
在日外国人
法の壁、心の溝
第三版

岩波新書
1429

半世紀に渡って在日韓国・朝鮮人やアジアからの留学生、労働者、難民などを取り囲む「壁」を打ち破るために尽力してきた著者が、入管法や最新データを盛り込みながら、在日外国人の歴史と現状、課題について、自身の体験を踏まえつつ語っています。

ざいにちがいこくじん だいさんばん ほう かべ こころ みぞ
在日外国人 第三版 法の壁、心の溝

田中 宏/著

岩波書店 2013.5 中央図書館にあります 請求記号：329.9



現役の新聞記者が、外国人が多く住む地域に実際に住み込み、または通って取材をしたルポルタージュ。地域に増えた外国人居住者と古くから住む日本人住民との間の軋轢や衝突、その解消に努力する双方の様子をわかりやすく伝えています。

いみんれっとう 「移民列島」ニッポン たぶんかきょうせいしゃかい い 多文化共生社会に生きる

藤巻 秀樹/著 藤原書店 2012.10

中央図書館にあります 請求記号：334.4

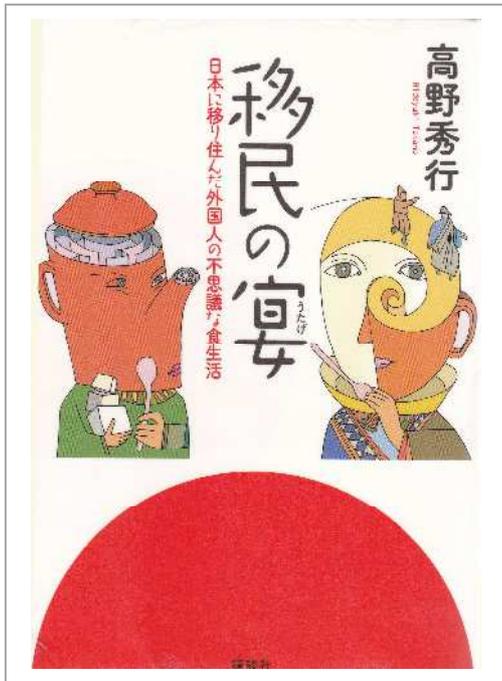
建前では「移民」のいない日本には、実際には労働力の担い手として、古くから外国人が移り住んできました。今の日本の農業や産業は、近年やってきたニューカマーに支えられています。彼らの生活はどのようなものなのかを紹介しています。



し りんじん がいこくじん にほんしゃかい もっと知ろう!! わたしたちの隣人 ニューカマー外国人と日本社会

世界思想社 2010.3

中央図書館にあります 請求記号：334.4



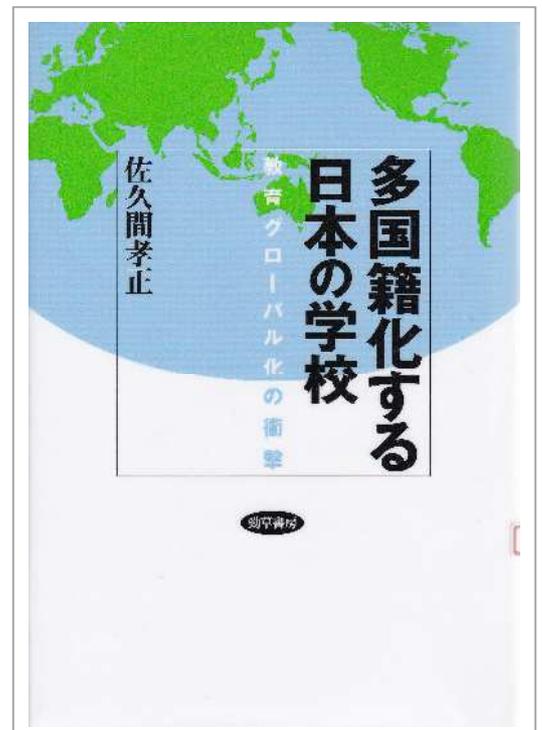
日本で暮らす外国人は普段どのような食事をしているのでしょうか。母国の料理？ それとも日本の料理？ 千葉県成田市のタイ寺院、群馬県館林市のモスク、西葛西のインドなど外国の方のコミュニティに入り込んだ著者が楽しくレポートしてくれます。

いみん うたげ にほん うつ す がいこくじん ふ し ぎ しょくせいかつ
移民の宴 日本に移り住んだ外国人の不思議な食生活

高野 秀行/著 講談社 2012.11

中央図書館にあります 請求記号：383.8

増加する外国につながる子どもたち。その現状を、保育園、小学校、中学校、夜間中学、高等学校、大学など教育段階ごとに解説します。これからの現場の課題、教育制度のあり方を問いとして投げかけます。



たこくせきか にほん がっこう きょういく か しょうげき
多国籍化する日本の学校 教育グローバル化の衝撃

佐久間 孝正/著 勁草書房 2015.11

中央図書館にあります 請求記号：371.5



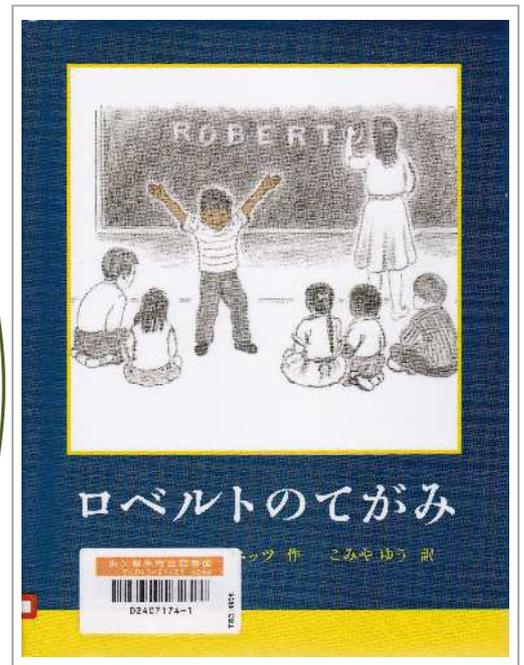
多文化共生が主題の本ではありませんが、異なる文化・価値観を持つ人とどう「対話」していくか、多くの気づきを与えてくれます。演劇にたずさわる芸術家によるコミュニケーション論です。

わかりあえないことから コミュニケーション^{のうりよく}能力^{なに}とは何か

平田 オリザ/著 講談社 2012.10

中央図書館にあります 請求記号：361.4

メキシコからアメリカに来たロベルトは英語を話せず、何かをしては近所の人から悪い子だと怒られてばかり。言葉のわからないロベルトには、どうしてなのかわかりません。そんな時、おとうさんとけんかして家を出て行ってしまったおかあさんに、習いたての英語で手紙を書きます。



ロベルトのてがみ

マリー・ホール・エッツ/作 こみや ゆう/訳 好学社 2016.1

中央図書館・ひばりが丘図書館にあります 請求記号：93/I